

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 3 月 30 日

仕事の内容	在宅ねたきり高齢者おむつ貸与・支給事業				
担当部署・課長名	高齢介護課	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市内に住所を有する65歳以上の在宅ねたきり高齢者であり、失禁状態である者 ・上記のほか、市長が必要と認めた者							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 市内65歳以上の高齢者数(平成29年4月1日現在)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①介護者の負担を軽減し、在宅生活を維持、継続している ②衛生状態が向上している							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 支給者数				
	③ そのために何をしましたか。 在宅の寝たきり高齢者におむつの貸与及び支給を行った。 支給の流れについては、まず、担当区域の高齢者ほっと支援センターの職員が自宅に訪問して身体状況を確認。同センターによる申請代行を受けて、市が貸与・支給を決定する。そして、委託業者が毎月1回、対象者宅を訪問し、おむつを配達する。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 支給者数				

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	21,387	21,957	22,350		
	成果指標	②の数値	人	216	190	178		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	人	216	190	178			

3 経費	事業費(実績)		円	7,047,589	6,937,343	6,336,485	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	7,047,589	6,937,343	6,336,485	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	1,646,600	1,653,400	1,650,600	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	8,694,189	8,590,743	7,987,085		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和60年5月開始。当時、高齢者人口の増加に伴い、在宅介護サービスの拡充が求められていたことを背景に開始された。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 高齢化の進行に伴い、開始当初と比べて、利用者数は増加した。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし	

仕 事 の 内 容	在宅ねたきり高齢者おむつ貸与・支給事業				
担当部署・課長名	高齢介護課	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。					
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。				
	おむつやパッドの支給数は、種類によって異なり、また、併用しているかどうかでも支給数が異なってくる。そのため、利用者に支給内容を一時的に変更できることを伝え、なるべく不足が生じないように、支給内容の変更に努めた。				
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。				
特になし					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	特になし				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。				
	特になし				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。